



2025

# 学校だより **本荘** Smile

令和7年度 第30号  
令和7年12月17日  
熊本市立本荘小学校  
校長 西川 英臣

## 3年生の研究授業。名作「サーカスのライオン」のご紹介です。



さあ、久しぶりの学校だよりです。これまでいそがしくて出せなかった分をどんどん仕上げていますので2学期中に可能な限りお届けしようと思います。よろしくお願い致します。

9月18日に、3年生の国語の研究授業がありました。名作「サーカスのライオン」です。保護者の方の中にも、小学校の時に教わったという思い出がある方がおられるかもしれませんね。私が平成13年に3年生の担任をしたときに授業していますので(笑)十分に可能性がありますね。

どんなお話かといいますと、サーカスで火の輪くぐりをしてきた年老いたライオン「じんざ」と、サーカスを訪れる心優しい少年との交流、そして、じんざの最期の決意を描いた物語です。

じんざはもともとサーカスで一番の人気者で、見事な火の輪くぐりを披露していました。しかし、年をとり、最近では元気がない様子でした。ある日、散歩に出ているじんざは、一人の少年と出会います。少年はじんざを怖がらず、「サーカスのおじさん？」と話しかけ、優しく接します。この出会いが、じんざの心に温かい灯をともします。その夜、少年の家が火事になります。じんざは、少年を助けるために火の中に飛び込みます。(裏面に続きます)



足を怪我しながらも少年を助け出したじんざは、もう明日でサーカスが町を離れることを悟り、少年のために「若い頃のように火の輪を五つにしてくぐりぬけてやろう」と一大決心をする場面で物語は終わります。この物語は、じんざと少年の心の交流を通じて、登場人物たちの気持ちの変化や、優しさ、勇気といったテーマについて深く考えさせる作品となっています。

授業は、さすが経験豊富な上須崎先生です。こどもたちに、ライオンのじんざの気持ち、少年の気持ちをしっかりと読み取らせながら、一人一人から意見を出させていました。最近、ICTを使った授業が日常化していますが、写真を見られておわかりの通り、黒板や挿絵を上手に使った授業をされていました。タブレットやパソコンの中の画像も教育的効果がありますが、黒板への板書等、直接的に視野に入るものはこどもの思考を刺激します。伝統的に教育の場で使われてきた教育方法は、ICT教育全盛の現在でも必要とされるのだと思います。本荘小では、そんな教育に継続して取り組んでいるのです。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「2年生はどこから帰ってきたのでしょうか」  
颯爽と歩く2年生。もうすぐ本荘小ですが、さあ、どこから帰ってきたのでしょうか? (^)



実は、郵便局からの帰りです。みんなでかけはしウィークでつくった絵手紙を出してきたんだそうです！

